

品川区の河川・運河の水質を改善

◇事業目的

今年実施した品川区世論調査の「生活環境について」の項目の中で「海、川や運河などの水の汚れは」がワースト1の評価であった。目黒川、立会川や勝島運河は下水道の整備の進展とともに水質が改善されてきたが、水の流れが少なく、雨天時には汚れた雨水が流れ込むため、依然として水質の悪化がみられる。

そこで、品川区の河川・運河のきれいな水辺を取り戻し、区民が河川や運河に親しみ、潤いのある水辺環境へと再生を図るため、「河川・運河に汚れを出さない取組み」と「汚れた河川・運河をきれいにする取組み」の2方向から、区として積極的に水質改善に取り組む。

◇事業内容

○河川・運河に汚れを出さない取組み

①勝島運河雨水貯留施設建設工事（事業年度：平成24～27年度）

- ・雨天時に汚れた雨水が勝島運河に流れ込むのを少なくするため、汚れた雨水を貯める下水道管を整備する。
- ・貯留量、約4,700t（小学校プール 約13杯分）

②雨水浸透・貯留

- ・宅地に降った雨水を浸透・貯留させるため、区民による雨水利用タンク設置費用等に助成する。

○汚れた河川・運河をきれいにする取組み

①河川のしゅんせつ

- ・目黒川の川底にたまった泥を取り除く。

②水質浄化施設

- ・高濃度酸素溶解水供給施設により、立会川の河川水を汲み上げ、直接水質を改善する。

◇事業予算 1,132,868千円

- （内訳）
- ・排水施設建設事業（勝島運河雨水貯留施設建設工事）1,088,395千円
 - ・雨水利用タンク設置助成等：1,350千円
 - ・高濃度酸素溶解水供給運転：13,423千円
 - ・河川浚渫工事：29,700千円

◇参考資料

